「加速器」

Vol.16, No.2 (2019.7.31 発行)



表紙写真の説明

量子科学技術研究開発機構 (QST) 六ヶ所核融合研究所 では,欧州との共同プロジェ クトとして,大強度中性子 源を目標として, 9 MeV, 125mA の重陽子ビーム IFMIF 原型加速開発を行っている. 現在, RFQを用いた5 MeV までの重陽子の加速実験を 行っている(上). 入射器の 重陽子ビームは(中左)、RFQ 断面は(中)である. 2020年 より連続出力実験を計画し ており, そのための1 MW ビームダンプ(中右)は据 付が完了した. RFQ の出力 ビームを9 MeV まで加速す る超伝導加速器は現在組み 立て中で(左下),(右下)は 超伝導線形加速器クライオ スタットである.

> 坂本 慶司 (QST)

・巻頭言

12 GeV 陽子加速器建設期のころ ———— 高野

野 進 85

・解説

技術研修会「シミュレーション技術」 SuperKEKB 最終収束用超伝導 電磁石システム (QCS) の設計とシミュレーション手法 — 山岡 広 87 気泡関数要素を用いた FEM による移流現象の数値解析 — 倉橋 貴彦 96

・話題

IFMIF 原型加速器の現状

> 一 發知 英明,原田 寛之,岡部 晃大,サハ プラナブ, 菖蒲田 義博,田村 文彦,吉本 政弘 109

・談話室

Synchrotron SOLEIL 長期滯在報告 ——

— 山本 尚人 119

- 142

・会議報告

AFAD2019 報告 —

・追悼文

 小山田正幸先生の逝去を悼んで
 加藤 龍好 126

 佐藤勇先生を偲ぶ
 福田 茂樹 128

- ・掲示板 (関連会議情報)・会告・編集後記 ———— 130
- ・投稿の手引き ------ 140
- ・入会申込書・賛助会員名簿 —